

第 71 回担当理事会議事要録

日 時 2016 年 11 月 6 日 (日) 13 : 30 ~ 16 : 30

場 所 一般財団法人 ゆうちょ財団会議室
〒101-0061 東京都千代田区三崎町 3-7-4

出席者 会 長 米山 高生
副会長 朝日 讓治
大藪 千穂
総務担当理事 天野 晴子
同 植野 和文
同 小笠原浩一
同 鴨池 治
同 小林 毅
同 菅原 浩信
同 永田 邦和
同 西脇 廣治
渉外担当理事 上村 協子
(12 名)

事務局 芹沢 佐知子

【審議事項】

- (第 1 号議案) 「生活経済学会活性化」にかかる取り組み等について
・学会誌について
・学会編著書籍の発刊について
・企画委員会について
- (第 2 号議案) 「終身一括払い」導入にかかる会員への周知について
- (第 3 号議案) 「名誉会員」の推薦について
- (第 4 号議案) 生活経済学会新入会員の承認について
- (第 5 号議案) 各種委員会委員の交代について

【報告事項】

- 1 学会誌「生活経済学研究」編集委員会報告について
- 2 第 33 回研究大会開催について
- 3 2016 年度部会開催の日程等について
- 4 次回担当理事会開催について
- 5 その他

【審議事項】

(第1号議案) 「生活経済学会活性化」にかかる取り組み等について

- ・学会誌について
報告事項参照

- ・学会編著書籍の発刊について
現在進捗中の『地域社会と生活経済（仮題）』については、2017年2月出版予定としている。出版にあたり、活性化予算を活用し、全会員（準会員と未納会員を除く）への配布を行うことについて説明があり、承認された。
なお、活性化予算を使用する経緯等については、来年度の会員総会において詳細を説明することにより、会員への理解を得ることとした。

- ・企画委員会について
次期企画案について説明があり、承認された。

(第2号議案) 「終身一括払い」導入にかかる会員への周知について

2017年度より、満70歳に達している正会員は「終身一括払い」が選択出来ることについて、学会HPにおける周知、対象となる会員への個別案内を行うことについて承認された。具体的には、2017年度の会費納入に支障が出ないよう、2017年の早い時期に学会HP及び対象者への通知等会員への周知を行うこととした。

(第3号議案) 名誉会員の推薦について

中部部会長より2名の名誉会員候補者の推薦があり、審議の後、承認された。

(第4号議案) 新入会員の申込み審査について

新入会員（9名・1法人）より入会申し込みがあり、審議の後、承認された。

(第5号議案) 各種委員会委員の交代について

各委員長より委員の交代等について報告があり、承認された。
なお、ホームページ委員会委員については、追って部会長に推薦いただくこととなった。

【報告事項】

1 学会誌「生活経済学研究」編集委員会報告について

以下について小笠原編集委員長より報告があった。

- (1) 『生活経済学研究』第44巻の発刊について
第44巻については、「特集」掲載により内容の充実した学会誌となった。執筆者の方々には感謝申し上げます。
- (2) 『生活経済学研究』第45巻の投稿結果について
第45巻については、14本の投稿があった。
- (3) 学会誌編集上の検討課題について：編集委員長から編集委員会への提案事項の説明
 - ①特集の継続について
「特集」の掲載については今後も継続する方向で検討していく。
 - ②査読委員会の設置について
投稿論文の「査読」については、査読候補者辞退等の問題がある。査読委員会を設置に向け編集委員会において検討していく。
 - ③査読のあり方（査読結果報告書の内容）について
現在の投稿論文の採択率が低く、査読審査が厳しすぎるとのではないかとの意見

もある。このため査読結果報告書のガイドライン等を含めた「査読のあり方」について編集委員会において検討していく。

④投稿促進方策について

投稿促進の方策として、投稿規程の見直し等を編集委員会において検討していく。

2 第33回研究大会開催について

第33回研究大会のプログラム骨子について、実行委員長である鴨池東北部会長より報告があった。

3 2016年度部会開催の日程等について

各部会長より、2016年度部会開催について報告があった。

4 担当理事会開催について

次回担当理事会は、第17期理事推薦会議と同日開催予定であり、2017年3月20日～31日頃開催となる見込み。早めに候補日について連絡するとの報告があった。

5 その他

(1) 部会開催にかかる他学会との共催について

北海道部会長より、部会開催について他学会との共催・後援について提案があり、米山会長からも活性化の点からも有益との意見があった。上村担当理事からは、今年度の北海道部会の開催について「生活科学系コンソーシアム」への後援依頼の提案があった。担当理事会後「生活科学系コンソーシアム」に後援名義申請し、承認を得た。

(2) 第17期理事選挙について

第17期理事選挙実施の年であり、ご協力いただきたいとの報告があった。

以上